

株式会社横浜アートニクス

2024 年度環境経営レポート

(対象期間 2024 年6月1日～ 2025 年5月31日)



® 環境省

エコアクション21

認証番号0003852

発行日：2025年6月5日

目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	10
<input type="checkbox"/> 環境上の緊急事態への準備及び対応・緊急事態対応の試行・訓練	10
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	11

環境経営方針

【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
 - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
 - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境経営レポートを社内外へ公表します。
5. 環境経営方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2022年6月6日

代表取締役 久家 雅英

□組織の概要

更新日：2025年6月3日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 横浜アートニクス
代表取締役 久家 雅英 代表取締役 久家 淳
- (2) 所在地
本 社 福岡市早良区西新五丁目1番30号 アール西新4階
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611
担当者 木貫 幸代 TEL:092-846-0611

- (4) 事業内容
電気・電子機器の開発設計
・回路設計 ・FPGA(field-programmable gate array)設計
・実装設計 ・プリント配線設計

- (5) 事業の規模
売上高 208 百万円

	本 社	派遣先企業(※1)	合 計
役員・従業員 名	10 名	18 名	28 名
延べ床面積 m ²	124.06 m ²	m ²	

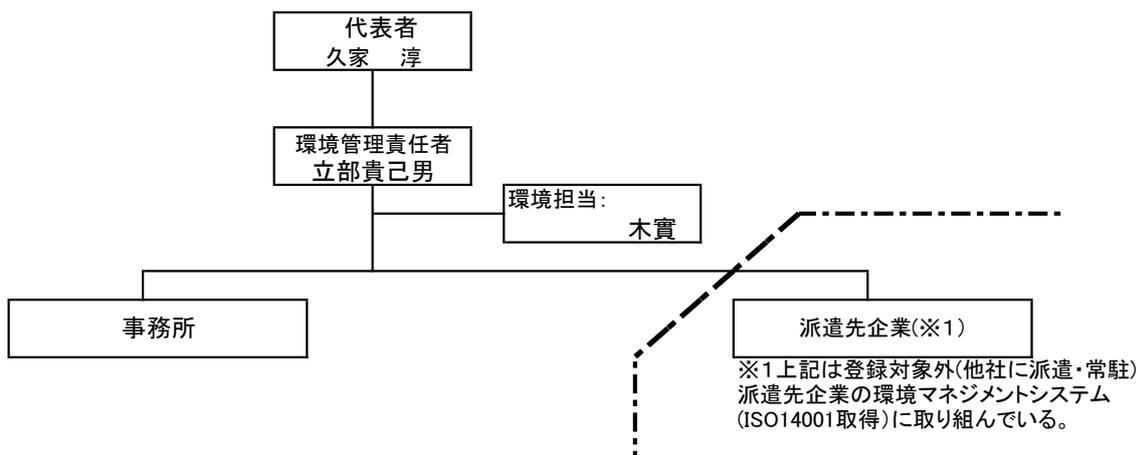
※1 18名は社外常駐勤務の為、実質エコアクション対象社員は10名である。

- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス
対象事業所： 本 社
活動： 電気・電子機器の開発設計

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する最高責任者 ・環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の推進 ・環境管理責任者の指示への対応

□主な環境負荷の実績

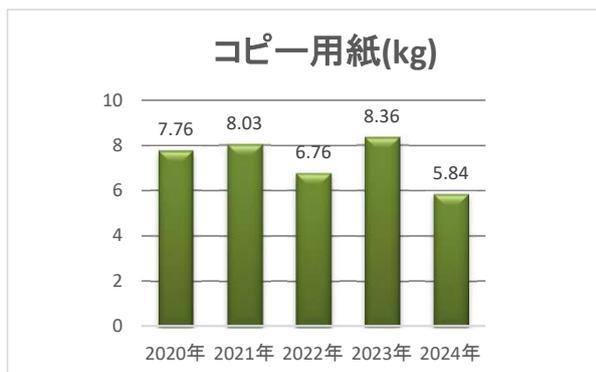
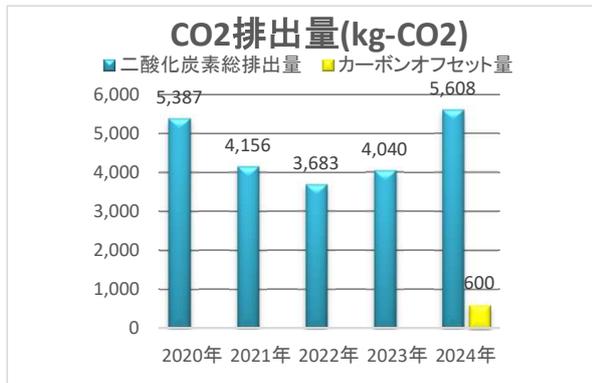
項目	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	5,387	4,156	3,683	4,040	5,608
カーボンオフセット量	kg-CO ₂	-	-	-	-	600
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	136.1	67.7	52.4	464.3	66.0
コピー用紙使用量	kg	7.76	8.03	6.76	8.36	5.84

※2020年二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO₂/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※2021年～2024年二酸化炭素排出係数 0.371 kg-CO₂/kWh (九州電力:2020年度調整後排出係数)

※水使用量:当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質:当社は化学物質の使用がありません。



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年	2026年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,050 (2024年1月～5月実績)+(2024年1月～5月月平均×7ヵ月)	5,000	5,608	×	4,949	4,899
	基準年度比		99%	111%		98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	67.7	66.3	66.0	○	65.7	65.0
	基準年度比	2021年	98%	98%		97%	96%
コピー用紙の削減	kg	8.36	7.94	5.84	○	7.77	7.52
	基準年度比	2023年	95%	70%		93%	90%
グリーン購入の推進	事務用品	47	-	51	×	-	-
	グリーン用品	27	-	30		-	-
	対応率(%)	57.4%	60.0%	58.8%		60.0%	60.0%
※算出方法:2019年～2022年までに購入した47品を対象とし、その内グリーン用品27品購入済(対応率57.4%)							

※ コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m²(3.7422g/枚)にて算出した。

※ 水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※ 化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

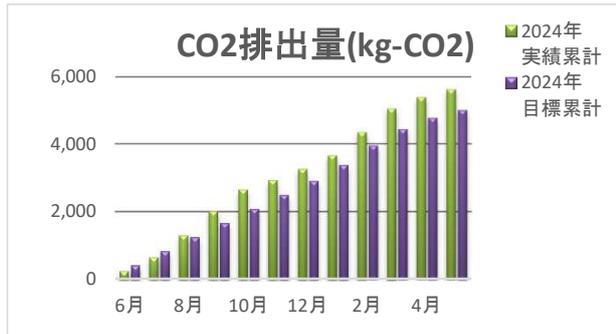
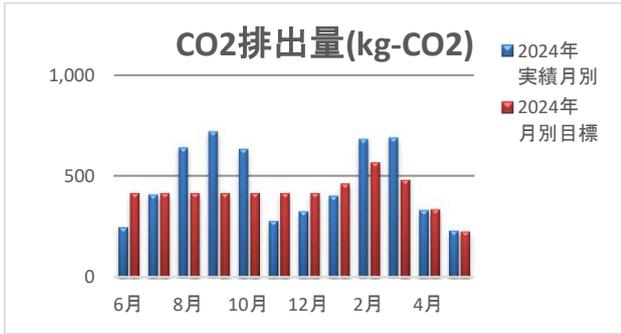
□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



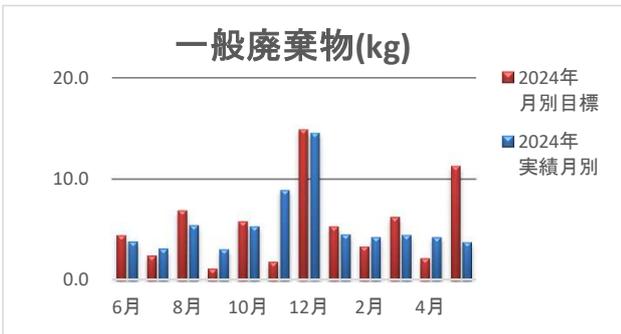
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。	数値目標変更あり
・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃)	◎	1年を通してどうしても7月~10月、12月~3月は冷暖房機の使用過多となる。ただし、不在中は1基は冷暖房機を消したり、蛍光灯も消灯したり努力したと思う。又、前年より検討していた博多湾ブルーカーボンクレジット制度を利用し	継続
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	○	1t-CO2の購入希望を出したが今回は0.6t-CO2の購入となった。	継続
・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節	○	1年を通して実際の使用量が把握出来たので次年度は今年度を基準値として目標設定する。	継続
・OA機器の省エネモード設定	○		継続
・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯	○		継続
・電気製品の電源OFFの徹底	○		継続
・未使用設備の節電(消灯等)	◎		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2024年 月別目標	417	417	417	417	417	417	417	464	569	483	338	229
2024年 目標累計	417	833	1,250	1,667	2,083	2,500	2,917	3,381	3,950	4,433	4,771	5,000
2024年 実績月別	249	410	642	720	636	281	328	404	683	690	334	232
2024年 実績累計	249	659	1,301	2,021	2,656	2,937	3,265	3,669	4,352	5,042	5,376	5,608



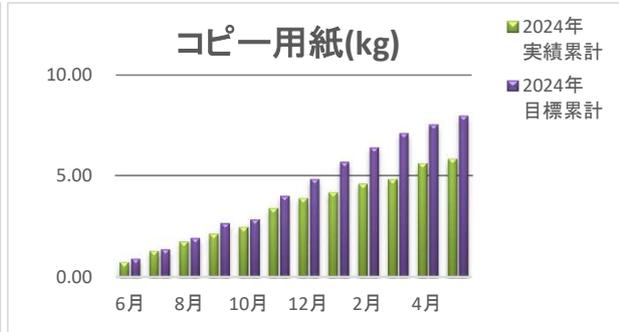
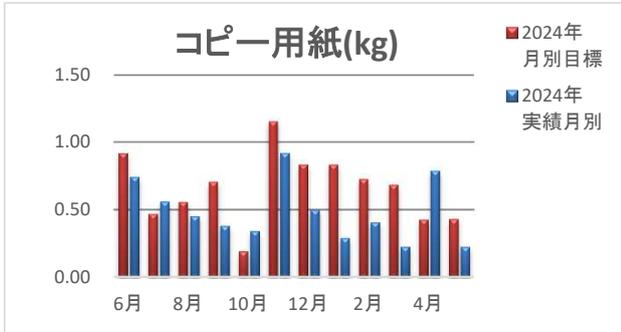
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更あり
・管理ビルに従った分別方法を徹底する。	◎	1年を通して事務所内作業者が昨年より若干多かった為、ゴミの量が多少増えた感じはするが、目標達成は出来た。ただ基準値は移転前の設定の為、次年度は今年度を基準値として目標設定を行う。	継続
・回収専用ボックスを設置し、用紙表面の有効活用を推進する。	○		継続
・古紙のリサイクル化	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2024年 月別目標	4.5	2.5	6.9	1.2	5.9	1.9	14.9	5.4	3.4	6.3	2.2	11.3
2024年 目標累計	4.5	7.0	13.9	15.1	21.0	22.8	37.7	43.1	46.5	52.8	55.0	66.3
2024年 実績月別	3.9	3.2	5.5	3.1	5.4	8.9	14.6	4.6	4.3	4.5	4.3	3.8
2024年 実績累計	3.9	7.0	12.5	15.6	21.0	29.9	44.5	49.1	53.4	57.9	62.2	66.0



コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・プロジェクター・PCモニター用テレビ利用で用紙使用量の削減	◎	基準値を2023年に変更し対応しましたが今年と比較的印刷物が少なかったこともあり目標達成することが出来た。	継続
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	○	次年度も2023年度を基準値として対応する。	継続
・裏紙再利用	○		継続
・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	◎		継続



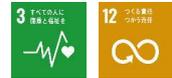
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2024年 月別目標	0.92	0.47	0.56	0.71	0.19	1.16	0.84	0.84	0.73	0.69	0.43	0.43
2024年 目標累計	0.92	1.39	1.95	2.66	2.85	4.00	4.84	5.67	6.40	7.09	7.51	7.94
2024年 実績月別	0.75	0.56	0.45	0.38	0.34	0.92	0.50	0.29	0.41	0.23	0.79	0.23
2024年 実績累計	0.75	1.31	1.76	2.14	2.48	3.40	3.90	4.19	4.60	4.83	5.62	5.84



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	商品リストは最終的に51品目に増え新しくグリーン商品を購入したのは2品でした。確認不足で購入出来なかった商品が2点ありましたので次回は注意しながらグリーン商品購入に努めたいと思う。	数値目標変更なし
・有害性の少ない資材の購入	○		継続
・事務用品グリーン購入対応率の維持	△		継続



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—		数値目標は行わない
・事務所内節水ポスター掲示	○	日常的に節水に取り組んだ。	継続
・日常的に節水を心掛ける	○		継続



製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—		数値目標は行わない
・開発仕様への参画	○	受託業務開発使用への進言を主に環境に配慮した設計に取り組んだ。	継続
・低消費電力を目的とした装置設計	○		継続
・有害物質を含まない装置設計	○		継続

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2025 年度環境経営目標・計画

方針	目標	活動項目	SDGsとのつながり
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 15,115 kWh 2024 年 5,608 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: 0.371 kg-CO2/kWh 2025 年度目標 5,552 kg-CO2 基準年度比 99% 削減率 -1% 目標値 5,552 kg-CO2 14,963.9 kWh 2026 年度目標 5,496 98% 2027 年度目標 5,439 97%	・空調温度の適正化(冷房26°C~28°C 暖房22°C~20°C) ・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。 ・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節 ・OA機器の省エネモード設定 ・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯 ・電気製品の電源OFFの徹底 ・未使用設備の節電(消灯等)	7 気候変動に具体的な対策を 12 つくば未来の消費 13 気候変動に具体的な対策を
	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2024 年 66.0 kg 2025 年度目標 基準年度比 98% 削減率 -2% 目標値 64.7 kg 2026 年度目標 64.0 97% 2027 年度目標 63.4 96%	・管理ビルに従った分別方法を徹底する。 ・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。 ・古紙のリサイクル化	11 気候変動に具体的な対策を 12 つくば未来の消費
廃棄物排出量削減	コピー用紙の削減 基準年度実績 2023 年 8.36 kg 2025 年度目標 基準年度比 93% 削減率 -7% 目標値 7.78 kg 2026 年度目標 7.52 90% 2027 年度目標 7.27 87%	・プロジェクター・PCモニター用テレビ利用で用紙使用量の削減 ・分割印刷推進による用紙使用量の削減 ・裏紙再利用 ・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	11 気候変動に具体的な対策を 12 つくば未来の消費
	グリーン購入の推進 事務用品のグリーン購入比率向上 2025 年度目標 60.0% 2026 年度目標 60.0% 2027 年度目標 60.0%	・有害性の少ない資材の購入 ・事務用品グリーン購入対応率の維持	12 つくば未来の消費
製品への環境配慮	製品への環境配慮 ※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主なため目標値は設定しない。	・開発仕様への参画 ・低消費電力を目的とした装置設計 ・有害物質を含まない装置設計	3 気候変動に具体的な対策を 12 つくば未来の消費
	課題を解決しチャンスを活かす取組	・働き方改革 有休取得促進、長時間労働の解消 インターンシップ	3 気候変動に具体的な対策を 8 働きがい、健康、安全
年間活動計画	水道水の削減 水使用量はビル管理の為、測定及び目標設定が不能な為日常的な節水のみを目標とし、基準値目標値等は設定しない。	・事務所内節水ポスター掲示 ・日常的に節水を心掛ける	6 安全な水と衛生
	環境教育 一般教育 緊急事態対応訓練 生物多様性への取組 環境関連法規等の遵守評価 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポート 審査申し込み	・環境方針・目標・活動計画の周知 ・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価 ・火災対応訓練 ・使用済切手や書き損じはがきの収集 ・作成と地域事務局への送付	4 質の高い教育をみんなに 11 気候変動に具体的な対策を 15 気候変動に具体的な対策を

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	期間中の廃棄OA無し	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	期間中の廃棄小型家電機器無し	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ・電子レンジ	期間中の廃棄家電なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2024/10月参加)	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

・特になし

□環境上の緊急事態への準備及び対応・緊急事態対応の試行・訓練

作成日：2024年10月25日



緊急事態対応手順	(パターン1:事務所からの出火) (パターン2:震度6弱程度の地震が発生→その後、しばらくして事務所からの出火。)
対応手順	(火災を発見したら) ① 火災を発見したら、大声で近くの社員に知らせ、発見が早ければ設置の消火器で『初期消火』を行う。 ② 社長へ連絡し指示を受ける。 ③ 初期消火に失敗した場合や発見時すでに天井まで火が上がっている等火勢が衰えなかった場合には無理をせずまずは避難を優先する。共用部にある屋内消火栓の発信機(ベル)を押す。また、消防署(119番)及び管理ビルに連絡をする。 ④ 避難には責任者の指示に従い、避難の際には煙を吸い込まないように姿勢を低くし口にハンカチやタオルをあて、慌てず階段を利用して避難する。エレベーターは利用しない。 ⑤ 社員は、状況を的確に判断し、消防隊が来場した場合、その指示を受ける。 (地震が発生したら) ① 状況に応じて机の下等に身を伏せて揺れが収まるまで待つ。棚や天井からの落下物による被害を避けましょう。 ② 地震がおさまったらオフィス出入口扉の開閉を確認し、出入口扉を開けたままの状態にしておき、その後責任者にしたがって行動する。 ③ 電熱器のスイッチを切る。 ④ 火災が発生したら皆で協力し合い、情報連絡のうえ初期消火活動に当たる。
予防手順	① 喫煙は指定された場所以外の共用部は全館禁煙です。また吸殻は容器に入れて消火する。 ② 引火物、爆発物など危険物の持ち込み禁止。 ③ 不審者、不審物を発見したら直ちに通報する。 ④ 共用部の廊下、階段、エレベーターホール防火戸に物を置かない。 ⑤ 終業時、最終退社者は、火気、消灯、その他の電源遮断をし、施錠してから退社する。 ⑥ 地震発生の場合の防災組織を定め、避難経路を、日頃より従業員に周知しておく。
訓練内容	出火したことを想定して、上記の対応策を確認し、その内容の適否を確認した。同時に消火器の設置場所の確認や使い方を皆で確認した。また、緊急連絡網の更新を行った。
実施日	令和6年10月23日(PM14:00~PM14:30)
実施場所	事務所
参加者	久家、立部、藤野、中條、木實
対応策の検証結果	対応策の手順に従って確認したが、特に問題はなかった。
手順の改定の必要性	今回は改めて手順の策定や改定の必要性はないと判断する。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年6月4日

【評価】

今年度は二酸化炭素排出量が目標未達成であった。担当者から移転後の2024年1月から5月までの電気使用量を参考にして2024年度の目標値を設定したが、この設定手法に目標値を過少に推計する問題があったと報告を受けた。次年度は今年度の電気使用量を基準とし現実的な目標値を設定し、その目標値達成に向けて社員一同で取り組んでいきます。

今回は初めて日常活動で消滅出来ない分をカーボン・オフセット制度等を利用しました。今後は当制度を活用しながら2024年度を基準とし2030年度までに排出量を50%以下に削減することを目標とします。

その為、引き続きカーボン・オフセット制度に関して調査を行い、具体的な削減方法を検討するように担当者に指示を出しています。

その他、一般廃棄・コピー用紙については最終的に目標達成出来た事は評価でき、引き続き全社員には継続的な目標に向けて取り組むよう働きかけます。

生物多様性保全への取り組みについても、日頃の小さな積み重ねが目に見える形で実を結んでいることを嬉しく思います。引き続き、使用済切手の収集に取組んでいきます。

【見直し】

- ・二酸化炭素排出量及び一般廃棄物は基準値を2024年度に変更し環境数値目標を設定する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり（実績を踏まえて見直し）
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取り組みを身近なところからおこなってまいります。その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポレクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山（東アフリカ・タンザニア）での植林活動を支援していきたいと思っております。また、特定非営利活動法人難民支援協会への寄付を行っています。

※2025年5月に3本の苗木を植える分を提供する事が出来た。
(タンザニアポレポレクラブホームページにて今回提供分については2025年6月中旬掲載予定。又、過去提供した分についても協力企業として掲載中。)

https://polepoleclub.jp/support/used_stamps_and-postcards/result/



福岡市博多湾カーボン・オフセット制度の実施

福岡市博多湾カーボン・オフセット制度は、博多湾の藻場によるCO2の吸収量をクレジット化し、そのクレジットの売買を行うことで海域環境活動の更なる推進を目指す制度です。

オフィスのエネルギー使用に伴う二酸化炭素排出量をカーボン・オフセットしました。

2024年6月～2025年5月を対象期間とし、1年間に伴うCO2排出量の約10%に当たる0.6t-CO2をオフセットしました。今回は、令和4年度博多湾の藻場における二酸化炭素の吸収・固定によるクレジットを調達しています。

今後もCO2排出削減活動の実施と、更にカーボン・オフセットも行い、脱炭素社会へ貢献していきたいと思っております。

CERTIFICATE OF CARBON OFFSET	
博多湾ブルーカーボン・オフセット証明書	
 株式会社横浜アートニクス 様	
<small>福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度実施要領の規定に基づき、以下のとおりカーボン・オフセットが行われ、気候変動対策としてCO2の吸収・削減、博多湾の環境保全に貢献したことをここに証明いたします。</small>	
カーボン・オフセットの対象	オフィスのエネルギー使用に伴う二酸化炭素排出量の一部
カーボン・オフセットが完了した本クレジットの数量	0.6 t-CO₂
カーボン・オフセット開始年月日	令和7年1月24日
クレジットの種類	令和4年度博多湾の藻場における二酸化炭素の吸収・固定
カーボン・オフセットが完了した本クレジットの識別番号	2022-F-291 から 2022-F-296 まで
<small>令和7年6月17日 福岡市長 高島 宗一郎</small>	
	